

品川上空の 低空飛行計画にNO!

～大騒音!? 飛行機からの落下物!? 不動産価値の下落!?
2年後にせまる羽田空港新飛行ルート撤回を～

最大で**1分20秒に1機が通過** 品川上空 300~500m
(南風時の午後3~7時)

2年後の2020年に向けて、羽田空港の新飛行ルート計画が進んでいます。今は海の上を飛んでいる飛行機が品川の上空を飛ぶことで、騒音被害、落下物の危険性、不動産価値の下落が心配です。現区長は国策だからと受け入れて、区民の不安に耳を傾けません。

区民の立場で動く、新しい品川へ。

騒音

不動産価値の
下落

落下物の
危険性

NHK NEWS WEBでも特集記事

「(航空機がビルのすぐ上を通過している画像を見て) 20代の女性は、**すれすれを飛ぶように見えますが大丈夫でしょうか、と不安そう...**」

「幼い子どもを育てる母親は、**小さい子どもが昼寝の時、騒音がどれくらいうるさいのか気になります、と...**」

「**新ルートの実施ありきではなく、住民と時間をかけて議論し、不安を一つ一つ解消していくことが求められている...**」

www3.nhk.or.jp/news/web_tokushu/2017_1219.html より

2020年以降地価が下がる街ランキング 地価下落率ワースト1は 大井町!?

— 2013年ごろから地価が上がり続け、特に駅前には上昇率が高いエリアなのだが…



「2020年から羽田空港への進入経路の変更予定によって、大井町駅の上空500mをとぶことに。騒音は最高で80デジベルと試算されてますが、60デジベルで対面での会話は困難です…地価が影響を受けることは間違いありません」—

週刊SPA! 2018年9月11日号

コミュニティバスを品川に!



東京23区のうち多くの区で運行されているコミュニティバス。高齢者をはじめ住民の外出や通院を支えています。品川区でも多くの区民から要望が出ているのに、「予算がかかる」と、区は向き合ってきませんでした。そのうえ、区役所前にさえバス停がなく、多くの区民は不便なまま。
住民の暮らしに寄り添う、新しい品川へ。

品川区の保育は「詰め込み」主義? 定員オーバーは23区で最悪

待機児童解消に向けて全力で取り組まなければならないのはもちろんのこと。

でも、保育の質や安全を犠牲にするわけにはいきません。

品川区では、区立保育園に定員を大きくオーバーする園児を入園させ、

1・2歳児の詰め込み率は117~120%と23区内で最悪。

このままで、安心して子どもを預けられるでしょうか。

在宅子育てへの支援も含め、豊かな子育て環境をつくります。

保育政策を刷新して、新しい品川へ。

■区立保育園定員に対する充足率 (2017年4月1日現在)

1歳児	▶	120%
2歳児	▶	117%
0~5歳児計	▶	109%

東京都民間保育園協会調査部による
『東京都民間保育園に対する区市町村の助成状況一覧』
平成29年度版



区長が代われれば、 区政は変わる。

46年続く役人出身区長の多選にNO!
~区長は3期まで。区民目線の行政へ~

4年前の区長選挙の投票率は、過去最低の23.22%! 品川の空を守るため、投票に行って、新しい区長を選ぼう!